

令和4年5月(今月)の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
						1
						盛運祈願会 十三時
2	3	4	5	6	7	8
	憲法記念日	みどりの日	こどもの日			※
9	10	11	12	13	14	15
					奉仕作業 九時	
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29
						カレーフェス

行事予定中「※」は住職不在です。下記以外にも不在の事がありますので御用の際はご一報いただけますとありがたく存じます。

5月14日(土) 9時から春の奉仕作業をお願いします。奉仕の心は施しという大事な菩薩行が出来る良い機会ではないでしょうか。お手伝いをお願い致します。

妙岩寺 便り

知恩報恩

「知恩報恩」という言葉があります。あまり馴染みはないかと思えます。「知恩」とは、文字通り、恩を知る事、つまり、自分が多くの人に支えられていること、助けられていることに気づくことをいいます。「報恩」とは、その恩に報いること、即ち「恩返し」を意味します。そして、この「知恩」と「報恩」をつなぐものが「感謝」です。

五月八日(日)は母の日ですね。日頃の母への感謝を表す日。一九〇八年、アメリカの母の日の創設者、アンナ・ジャービスが「全ての母を称える式典」で白いカーネーションを配ったことからカーネーションが母の日の象徴となりました。日本では昭和十二年、「森永母の日大会」が開催され、終戦後はアメリカに倣い五月の第二日曜日に行われるようになりました。

「ご健在の母には赤いカーネーションを、亡き母に白いカーネーションを贈る事が一般的なようです。お母様へカーネーションを贈ることは「知恩」「報恩」「感謝」を表すことではないでしょうか。それは日蓮聖人が大事にされた「孝養(孝行)」の姿なのです。





五月十二日は 伊豆法難会です

伊豆法難は日蓮聖人の四大法難の一つです。文応元年（一二六〇年）日蓮聖人は天変地異などによる世の乱れを嘆き『立正安国論』を執筆し鎌倉幕府に献上しました。幕府はその内容に怒り、その翌年の弘長元年（一一六一年）五月十二日に日蓮聖人は捕らえられ、伊豆（現在の静岡県伊東市）へと流罪になりました。

流刑の際に、伊豆へ渡す船が、道中にあつた岩礁に日蓮聖人を降ろし、帰ってしまいました。

令和4年6月（来月）の行事予定						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
		盛運祈願会 十三時				
6	7	8	9	10	11	12
	鬼子母尊神大祭準備 十三時 お手伝いをお願いします	鬼子母尊神 十三時 九時〜お手伝いをお願いします				
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

潮の満ち干きで姿が隠れるというその岩礁に取り残された日蓮聖人ですが、偶然近くを通りかかった漁師船守弥三郎夫妻によって救われました。弥三郎夫婦は約三十日間日蓮聖人を川奈港奥の洞穴に匿い、お給仕をされました。今でも静岡県伊東市には日蓮聖人の史跡が数多く残されています。

妙岩寺公式 LINE



妙岩寺ホームページ



妙岩寺便り 5月号

令和4年5月1日発行・発行人：水野英修

電話 01658-2-1759/Fax 01658-2-1686/携帯 090-3462-052

e-mail : myouganji_com@yahoo.co.jp